

ザンビア AIDS孤児のための初等教育及び給食支援

事業分野 開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業

■実施団体

特定非営利活動法人 礎の石孤児院

所在地:東京都

WEBサイト:[礎の石孤児院](http://www.isodai.or.jp/)

■事業期間

2023年10月2日～2024年2月29日

■対象国・地域

ザンビア共和国ルサカ州(ンゴンベ貧困区)

■事業目標・内容

主にスラムにおける孤児を対象に、初等教育、及び、給食(朝食・昼食)の提供を支援する事によって、路上生活を選択することを抑止し、健やかな成長と将来的に貧困から脱却し自立した生活を営むことを目指す。

■事業実施の背景

数多くのストリートチルドレンを保護する一方、再び路上生活に戻っていく姿を目の当たりにし、子ども達の更生が、いかに困難であるかを痛感させられた。

そこで、路上生活を始める主要な 2 点「家に食べ物が無い」「学校に行かせてもらえていない」を支援するため、2019 年にスラムにおける初等学校運営を始めた。

団体のこれまでの取り組み

「礎の石孤児院」は1997年、カンボジアでの孤児院建設から始まった。ザンビアでは(カセンガ地区)に孤児院を建設し、2004年に孤児院をスタート。2010年2月より拠点を首都ルサカに移し、ルサカにおける第2孤児院の働きを始めた。ルサカでは2015年より、ストリートチルドレンに対する支援を行い、現在はHIV孤児の学校運営を行っている。世界中の子供たちに目を向け、一人でも多くの孤児たちを助ける事が出来るようにと、全世界に向けての孤児院建設をビジョンとしている。

事業実施の工夫点・成果

- ・87 人全員が最終試験をパスし、進級できる学力を持つに至ることができたのは快挙であった。特に識字力を改善するために絵本を活用し、毎月読み聞かせコンテストを学年毎に実施し、優勝者に景品(ささやかな)を贈呈するなどの取り組みを行ったことも、子どもたちにとって、よりモチベーションが高まったのではないかと考えている。
- ・家庭においては 1 日 1 度の食事もままならない子どもたちは、朝食と昼食の2食の給食を励みに通学している。

